

高齢者帯状疱疹定期予防接種がまだお済みでない方へ

問合せ 保健センター ☎0495-77-4041 FAX0495-77-0550

令和7年4月から高齢者帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まりました。今年度接種の対象となる方は令和8年3月31日までとなり、5年後の再度定期接種はありません。接種を希望する方は、期日までに接種を終了する必要があります。

【令和7年度の対象者】

4月に予診票を送付しています。予診票を紛失した方は保健センターまでご連絡ください。

年齢(R7)	対象者の生年月日
65歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生まれ
70歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれ
75歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生まれ
80歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生まれ
85歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生まれ
90歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれ
95歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれ
100歳	大正14年4月2日～大正15年4月1日生まれ
101歳以上	大正14年4月1日以前生まれ

【接種についての注意点】

2回接種が必要な不活化ワクチンを希望する場合は、年度内に接種を完了するために1回目を遅くとも1月末までに接種する必要があります。2回目が令和8年4月1日以降の場合は任意接種となり、全額自己負担となりますのでご注意ください。

予防接種を受けることは義務ではありません。本人が希望した場合のみ接種できます。接種については、かかりつけ医にご相談ください。

くらしの110番 リチウムイオン電池の特徴を知っておこう

問合せ 経済観光課 商工観光担当 ☎0495-77-0703 FAX0495-77-3915

電化製品を使う際には、乾電池を使用したりコンセントに接続したりすることが一般的でした。最近では充電すれば繰り返し使える「リチウムイオン電池」が広く普及し、コードレスの製品が増えています。

リチウムイオン電池は、スマートフォン、ノートパソコン、ワイヤレスイヤホンなどの多くの製品に内蔵されています。便利な一方、これら製品は取扱いを誤ると異常発熱や発火などのリスクが高まります。特に、落下などの強い衝撃や高温の場所に長時間置くと非常に危険です。使う人が製品の特徴を理解し、リコール情報にも注意を払うことで安全な使用につながります。

また、廃棄方法を誤るとごみ処理施設の事故を招くこともあります。全国のごみ処理施設等で令和5年度に出火した件数は8,543件で、前年度の約2倍でした。処分の際は十分注意しましょう。

【事例】

家電量販店で充電式サーキュレーターを購入後に、リチウムイオン電池が内蔵されていると分かった。最近、「リチウムイオン電池が発火する」という報道をよく聞くので使用に不安を覚える。

消費者へのアドバイス

- ①リチウムイオン電池に強い衝撃を加えたり、高温下で使用・放置したりしないようにしましょう。もし発火した場合は大量の水で消火し可能な限り水没させてから、119番通報しましょう。
- ②最新の情報をチェックし、リコール対象でないことを確認しましょう。
- ③不要になったリチウムイオン電池は、お住いの市町村の分別ルールを確認して排出しましょう。

▼困った時には、お近くの消費生活センター等にご相談ください。

消費者ホットライン ☎188（いやや） 埼玉県消費生活支援センター熊谷 ☎048-524-0999

国民健康保険・後期高齢者医療 人間ドック・脳ドック検診料の助成

問合せ 保険健康課 保険担当 ☎0495-77-2113 FAX0495-77-2117

疾病の早期発見、生活習慣病の予防、改善を目的として人間ドック・脳ドックを受検した場合に受検費用の一部を助成します。助成金の交付を受けるためには、必須検査項目すべてを受検している必要がありますので、受検前に必ず確認をお願いします。

【助成金額】 ※検診料がこれに満たないときは当該検診料の金額

人間ドック・脳ドック 30,000円、併診ドック 50,000円（年度内1人1回）

【対象者】

- 神川町国民健康保険へ加入の30歳以上の方（国保税を滞納していない世帯の方）
- 後期高齢者医療制度へ加入の方（後期保険料を完納している方）

【人間ドック助成のための必須検査項目】

- ▶身体計測（身長、体重、腹囲、BMI）▶尿検査（糖、蛋白、潜血、沈渣）▶血液検査 ▶呼吸器検査（胸部X線）▶循環器検査（血圧、心電図）▶視力 ▶消化器系検査（胃透視検査または胃内視鏡検査）▶腹部超音波検査 ▶便潜血 ▶聴力 ▶診察

【脳ドック助成のための必須検査項目】

- ▶頭部MRI検査 ▶頭部MRA検査

【注意点】 詳しくは保険健康課へお問合せください。

- 受検前に「人間ドック等申込書」を保険健康課窓口に提出し、受検後に「人間ドック等助成金交付申請書」を提出してください。（交付申請には領収書、検査結果、振込先口座が必要です。）
- 振込先は受検者本人または世帯主の口座となります。
- 人間ドックと脳ドックを同じ年度に別々に受けた場合、後に受けた検査の助成上限額は20,000円です。
- 町の特定健康診査を受ける方は人間ドックの助成対象外です。（脳ドックの助成は申請できます。）

ねんきんだより 20歳になる方へ ～国民年金の加入について～

問合せ 保険健康課 年金担当 ☎0495-77-2113 FAX0495-77-2117

日本国内に居住している20歳以上60歳未満の方は、国民年金の被保険者（加入者）となります。20歳になった方には、日本年金機構から国民年金（第1号被保険者）に加入したことのお知らせが届きます。※厚生年金保険に加入している方を除きます。

また20歳になってからおおむね2週間以内に基礎年金番号通知書、国民年金加入のお知らせ、国民年金保険料納付書、国民年金の加入と保険料のご案内（パンフレット）、保険料の免除・納付猶予制度と学生納付特例制度の申請書、返信用封筒が送付されます。基礎年金番号通知書は、加入する年金制度の変更手続きや年金の請求手続きなど一生をとおして使用しますので大切に保管してください。※厚生年金保険の被保険者だった方や障害・遺族年金を受給している方（していた方）にはお送りしません。

20歳になってから2週間程度経過しても国民年金加入のお知らせが届かない場合は、国民年金の加入手続きが必要なため神川町役場またはお近くの年金事務所で手続きをしてください。

問合せ
熊谷年金事務所 048-522-5012
保険健康課 0495-77-2113

熊谷年金事務所 相談予約受付専用番号
年金事務所の相談窓口は非常に混雑しておりますので、事前にご予約をお願いします。
予約受付専用番号 0570-05-4890